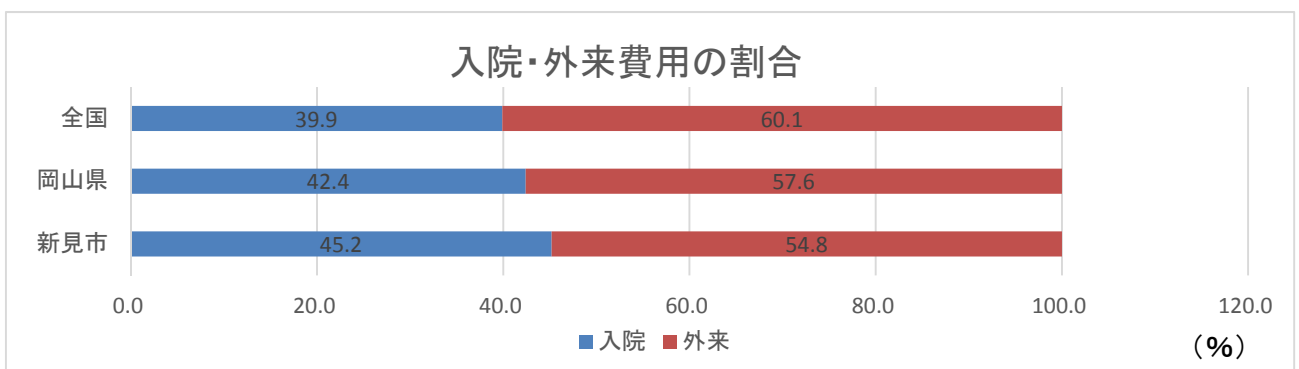
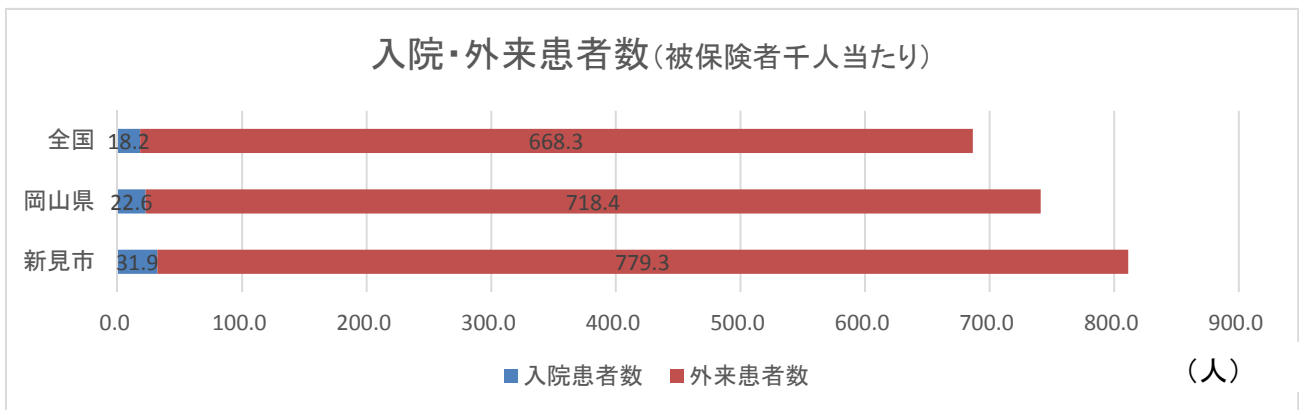
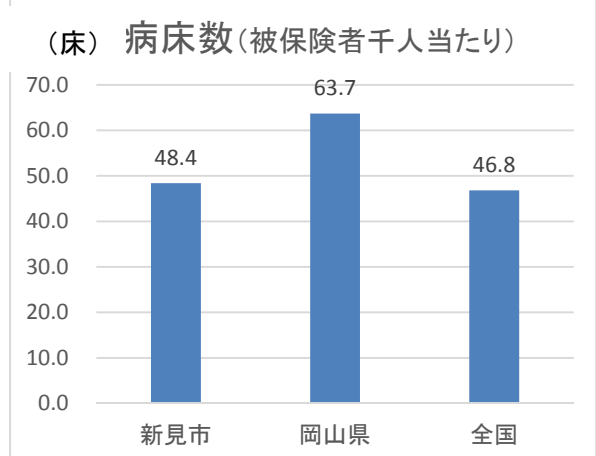
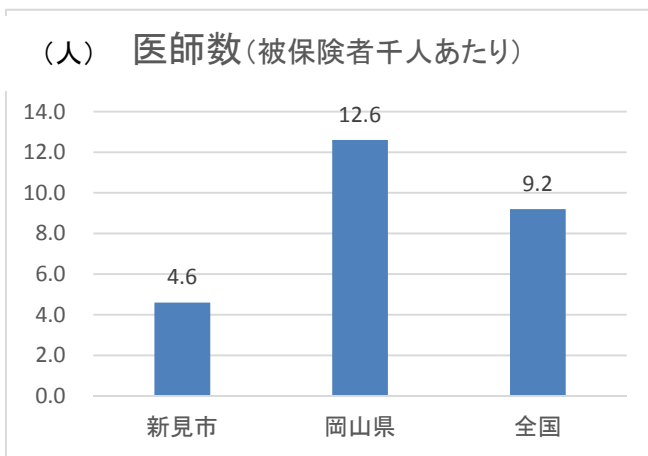
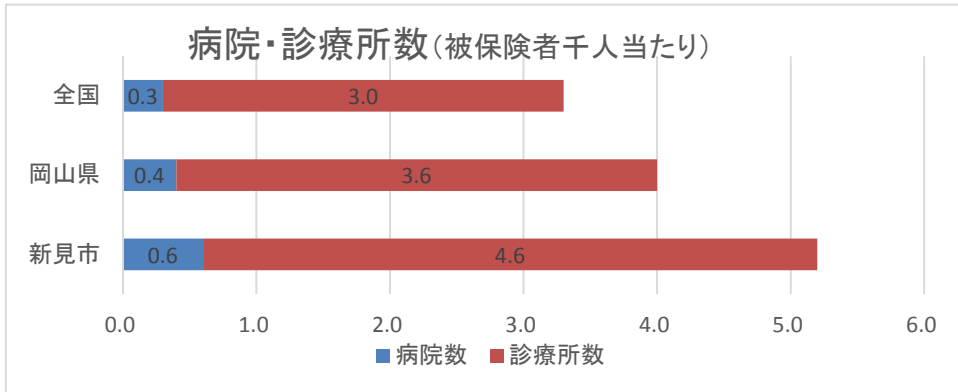


◆新見市の医療の概況

新見市の医療の概況を国保被保険者千人当たりで国県と比較すると、病院数、診療所数は国県に比べて多く、病床数は国より多く、県より少ない状況です。また、医師数は国県に比較してきわめて少ない状況となっています。

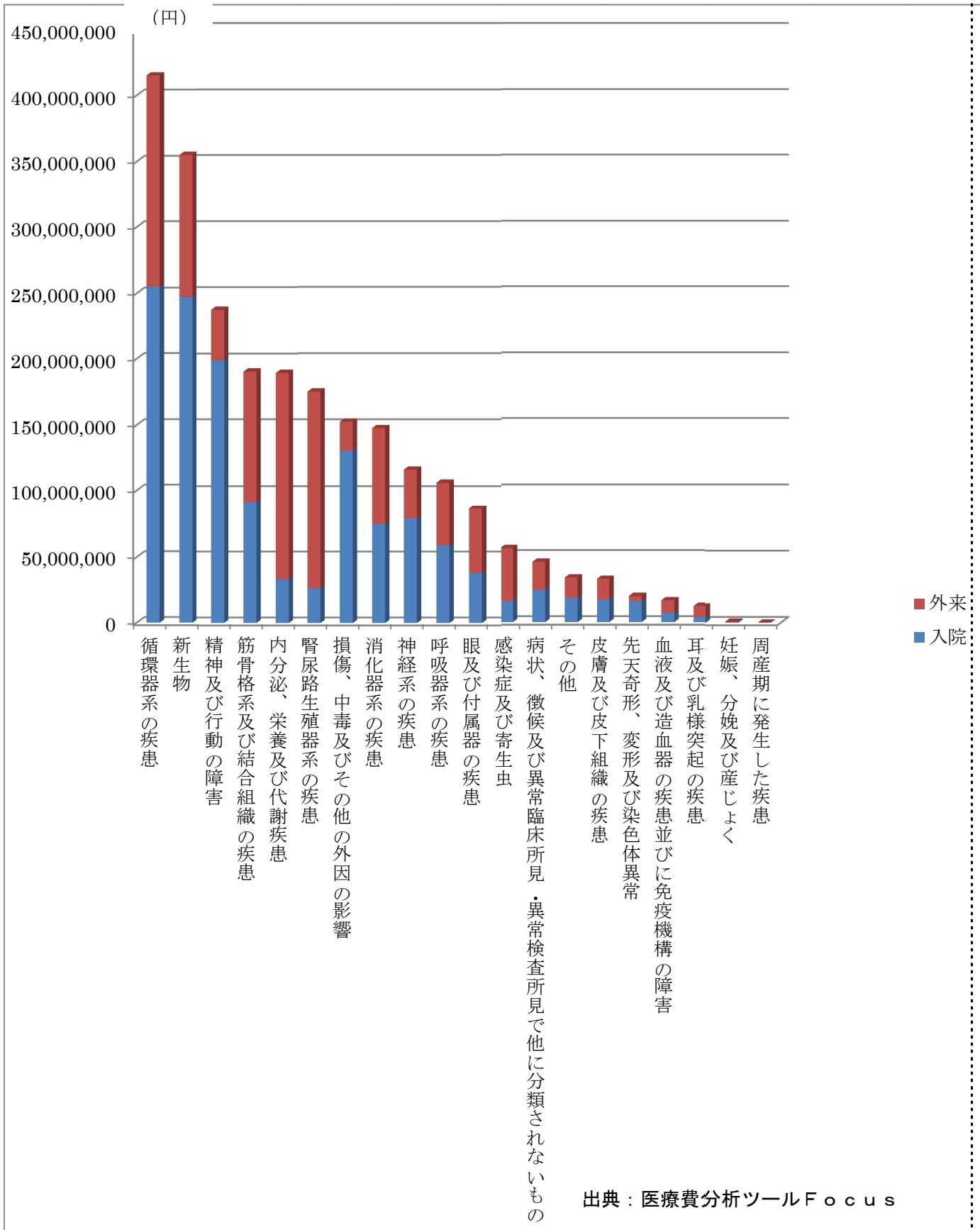
また、入院外来とも患者数は国県平均より多いです。また、入院と外来の費用の割合も国県に比べて入院費用が高く、入院が医療費を押し上げている状況と言えます。



◆疾病別の総医療費

疾病別の総医療費に関しては、「循環器系の疾患」が1番高く、2位が「新生物」、3位が「精神及び行動の障害」の順であり、1位の「循環器系の疾患」は、医療費全体の約17%を占めています。

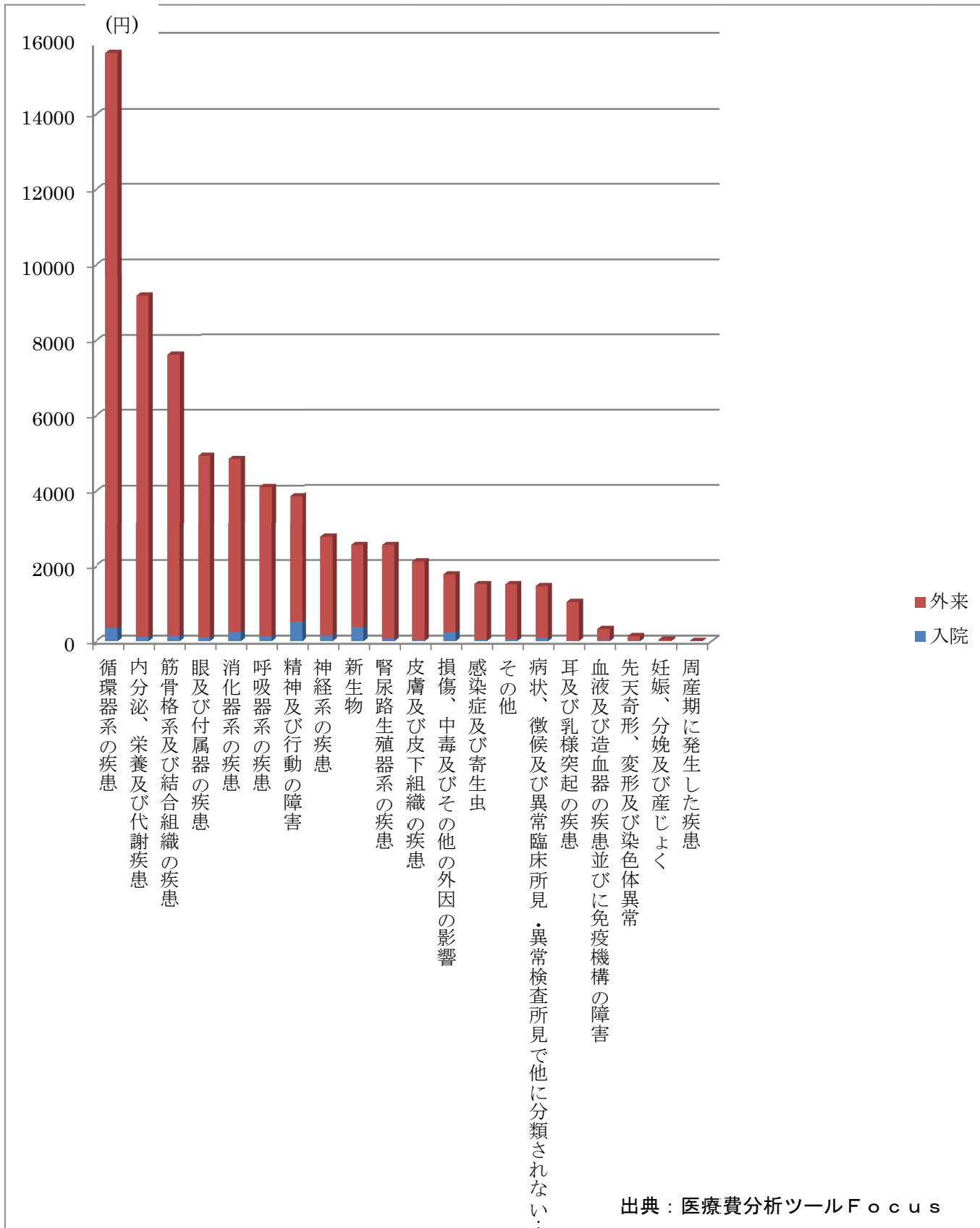
また、入院では「循環器系の疾患」が1番高く、2位が「新生物」、3位が「精神及び行動の障害」、外来においても1位が「循環器系の疾患」、2位が「内分泌、栄養及び代謝疾患」、3位が「腎尿路生殖系の疾患」の順になっています。



◆疾病別のレセプト件数

疾病別のレセプト件数は、「循環器系の疾患」が1番高く、2位が「内分泌、栄養及び代謝疾患」、3位が「筋骨格系及び結合組織の疾患」の順であり、1位の「循環器系の疾患」は、レセプト件数全体の約23%を占めています。

また、入院では「精神及び行動の障害」が1番多く、2位が「新生物」、3位が「循環器系の疾患」、外来においては1位が「循環器系の疾患」、2位が「内分泌、栄養及び代謝疾患」、3位が「筋骨格系及び結合組織の疾患」の順になっています。



◆平成27年度生活習慣病医療費分析

生活習慣病のレセプト件数が、県平均と比較して、入院・外来ともにほぼ全ての疾病で高くなっています。特に心筋梗塞の割合が、入院では県平均の2倍を超えており、外来でも1.5倍を超えています。

被保険者千人当たりの レセプト件数		入 院			外 来		
		新見市	県平均	県との比較	新見市	県平均	県との比較
1	糖尿病	0.775	0.447	173.4%	61.608	49.963	123.3%
2	高血圧症	0.286	0.157	182.2%	118.518	86.981	136.3%
3	脂質異常症	0.048	0.040	120.0%	58.186	55.093	105.6%
4	高尿酸血症	0.012	0.003	400.0%	1.228	1.259	97.5%
5	脂肪肝	0.000	0.017	0.0%	1.800	1.740	103.4%
6	動脈硬化症	0.048	0.042	114.3%	1.085	0.949	114.3%
7	脳出血	0.322	0.231	139.4%	0.286	0.218	131.2%
8	脳梗塞	0.811	0.481	168.6%	4.996	4.330	115.4%
9	狭心症	0.548	0.411	133.3%	7.190	6.184	116.3%
10	心筋梗塞	0.119	0.058	205.2%	0.727	0.477	152.4%
11	がん	3.851	2.622	146.9%	21.080	19.026	110.8%
12	筋・骨格	2.218	1.330	166.8%	88.531	64.787	136.6%
13	精神	6.808	4.125	165.0%	39.919	36.416	109.6%
計		15.846	9.964	159.0%	405.156	327.423	123.7%

出典：KDB 帳票 疾病別医療費帳票（生活習慣棒）

◆新見市国民健康保険の高額医療費の要因として推察されるもの

1. 被保険者の内、前期高齢者の割合が高い。
(H29.3 時点で、6,658 人中65～74 歳が3,713 人の55.8%を占めている。)
2. 被保険者数に対して、医療機関の割合が高く、医療機関を受診しやすい環境が整っている。
(病院数は国の約2倍、県の約1.5倍、診療所数も国の約1.5倍と多い。)
3. 入院患者の割合が高い。
4. 循環器系疾患、新生物（がんを含む）、精神疾患の1人当たり医療費が、県平均と比較して高い。
5. 生活習慣病に起因する疾病のレセプト件数が、県平均と比較してほぼ全ての疾病において高い。

◆医療費適正化対策として有効と考えられるもの

1. 重複頻回受診を避ける。後発薬品利用促進。
2. 生活習慣病の予防、健診による早期発見・早期治療、疾病管理。

◆地域別（大字別）主要疾患の一人あたり医療費（H25～27）

地域別に主要5疾患の一人あたり医療費をみると、大佐大井野、足立、大佐小南の順に高く、坂本、土橋、哲西町矢田の順に低くなっています。

疾患別にみると、次の表のとおりになっています。

疾患名 (円)	一人あたり医療費が高い地域			一人あたり医療費が低い地域		
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位
循環器系疾患	大佐上刑部 185, 837	千屋井原 135, 172	足立 102, 278	哲多町老栄 16, 299	豊永佐伏 17, 193	哲多町成松 17, 808
新生物 (がんを含む)	豊永宇山 156, 058	千屋井原 155, 782	足見 151, 072	坂本 3, 261	哲多町荻尾 4, 067	哲多町矢戸 10, 991
精神疾患	足立 190, 473	大佐大井野 166, 969	大佐小南 142, 988	千屋井原 0	千屋 196	法曾 644
筋骨格系疾患	大佐大井野 152, 808	哲多町花木 48, 249	草間 45, 465	哲西町大竹 8, 349	坂本 8, 538	哲多町老栄 8, 996
内分泌・代謝疾患	哲多町本郷 144, 211	大佐田治部 48, 822	大佐小南 40, 111	馬塚 6, 558	千屋花見 8, 510	哲多町大野 9, 290
腎尿路・生殖器系疾患	足立 165, 310	正田 82, 526	千屋井原 80, 886	馬塚 1, 398	土橋 1, 699	坂本 1, 830
消化器系疾患	大佐田治部 53, 098	足見 45, 102	長屋 39, 489	神郷下神代 9, 633	上熊谷 10, 208	哲西町大野部 10, 900
神経系疾患	哲多町老栄 163, 508	菅生 88, 800	上熊谷 83, 342	哲多町荻尾 653	馬塚 864	長屋 1, 658
呼吸器系疾患	大佐大井野 63, 278	大佐田治部 57, 319	大佐上刑部 44, 897	哲多町大野 1, 769	大佐布瀬 2, 270	哲西町大野部 2, 519

出典：医療費分析ツールFocus

循環器系疾患	(高血圧症、脳梗塞、虚血性心疾患、脳内出血、動脈硬化症、くも膜下出血等)
新生物	(各部位の悪性新生物、良性新生物)
精神疾患	(統合失調症、神経症性障害、気分障害、知的障害、血管性認知症等)
筋骨格系疾患	(関節症、脊椎障害、炎症性多発性関節障害、腰痛症等)
内分泌・代謝疾患	(糖尿病、甲状腺障害等)
腎尿路・生殖器系疾患	(腎不全、糸球体疾患、前立腺肥大、乳房及び女性生殖器疾患等)
消化器系疾患	(胃炎、十二指腸炎、肝硬変、胆石症、胃潰瘍、十二指腸潰瘍等)
神経系疾患	(脳性麻痺、パーキンソン病、てんかん、アルツハイマー病等)
呼吸器系疾患	(肺炎、喘息、慢性閉塞性肺疾患、急性気管支炎、アレルギー性鼻炎等)